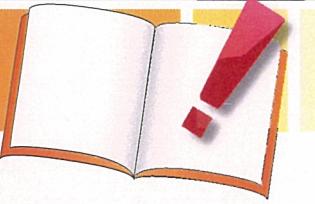


有限会社本藍染雅織工房

生薬「藍」を発酵させた「藍染液」の抽出エキスを化粧品や食品等に活用



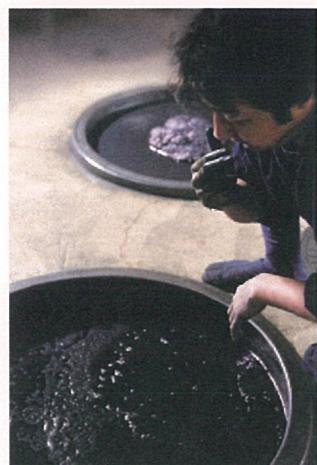
① 天然灰汁発酵建藍染液抽出エキスの製造・販売

- ▶ 「蓼藍」を原料にした日本最古の染色技法「天然灰汁発酵建本藍染」を用い、綿・麻・絹・再生繊維・革・紙などの染色を手掛けている。
- ▶ 古来、蓼藍は消炎・解熱・解毒作用などを有する生薬として用いられてきた。その蓼藍を日本の気候風土に合う染色液にした伝統の「天然灰汁発酵建本藍染液」から有効成分を取り出し、「藍」と「発酵」の力を染色以外の用途へと展開。
- ▶ 美肌効果を持つ化粧品や石けん、抗メタボリックや抗疲労効果などをもつ機能性食品などを府内各メーカーとの協力により開発し、商品化を目指す。「天然素材で安心」、「環境にもからだにも優しい」ことから様々な展開が考えられる。



② 知恵の使いどころ：伝統と自然の力を新しい用途に！

- ▶ 伝統の「天然灰汁発酵建本藍染液」から抽出したエキスには、蓼藍の生葉や乾燥葉から抽出するエキスよりも多くの有効成分や効用が認められ、嫌気発酵力により藍の力が十分に引き出されている。
- ▶ 江戸時代まで主流であった「天然灰汁発酵建本藍染」は、特殊なノウハウが必要でコストもかかることから、現在専業としている企業はほとんどない。生産地との強固な連携により、原料となる高品質な藍の調達が可能である。(1年に1回の製造のため)
- ▶ 化学物質を利用しないため、自然に還元できる安全な醸酵液を抽出できる。



③ 私たちのチャレンジ

- ▶ 藍や藍染液の効用に関する認知度は低いが、大学での検証が進んでおり、今後成分の濃縮や単一成分の精製を進め、様々な商品へ展開することで、認知度向上と利用機会の増加を図る。
- ▶ 藍の効用が極めて高いとしても、顧客志向に立った販売・マーケティング戦略が不可欠。サプリメント・食品・飲料分野においては、研究機関にとどまらず、協力企業とも幅広く意見交換し、ブランド化に取り組み、販売につなげたい。

● 会社概要

代表者

中西 秀典

所在地

京都市山科区小山中島町 9-9

事業概要

染織業

電話番号

075-594-0770 URL <http://www.miyabiori.jp>